



「授業チェックシート」

制作：青森県総合学校教育センター 学校のユニバーサルデザインプロジェクト(H29.3)

【○：意識して取り組んでいる △：あまり意識して取り組んでいない -：取り組んでいない】

クラスづくり	理解のゆっくりさや失敗をからかう雰囲気がなく、お互いにサポートし合うようなクラスづくりがなされている	
	学習の約束事(休み時間の中に次時の授業の準備等)を決めている	
環境の整備	集中を妨げる可能性のある音や目に入る物などを調整している	
	黒板やまわりの掲示は、余計な情報(授業に関係のない情報)がない状態になっている	
	共有で使う物の置き方や場所が決まっている	
	授業の流れや活動の手順を提示するなど、見通しがもてる工夫をしている	
授業づくり	本時のねらいや活動を絞り、生徒にしっかりと伝えている	
	注目することを促してから指示を出している	
	1回の指示で一つの内容を伝えている	
	「これ」「それ」「あれ」「どれ」等の抽象的な表現を避け、具体的に指示している	
	授業の最後に1時間で学習した内容を整理し確認している	
	生徒の活動に対して「いいね」「よくできたね」等の肯定的な言葉をかけている	
	絵や図等の視覚的な手がかりを用意している	
	板書の文字(大きさ)、チョークの色、配置等を工夫している	
	言葉だけの説明ではなく、図示する、演じる等の方法を用いて、理解を促す工夫をしている	
	ねらいに沿った授業の進め方や体験の内容など、授業の展開が工夫されている	
	達成までのプロセスに細やかな段階がある	
	ペア学習やグループ学習等の活動を取り入れ、学び合う機会を設けている	
教科の系統性を利用して、前の段階では理解が十分でなかったことや、再度確認を行う必要があることなどついて、復習する機会を設けている		
学んだことを別の課題に適用したり、実生活で活用したりすることができるような工夫をしている		

※このチェックシートは、当センターにおけるこれまでの研究や授業UD化モデル(小貫、2016)を参考に作成しました。自分の授業を振り返ったり、先生同士で協議したりする際に活用してください。